

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計動向 関連 (四国)	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・心配していた統一地方選挙の影響はほとんどなく、春物商戦はかなり盛り上がっている。気温も上昇し、夏物商戦も早めの動きが出てきている。	
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・天候不順により4月前半の客数は伸び悩んだものの、観光客やファミリー層の動きは活発で、週末を中心に人出は多い。レジャーやイベントへの関心が高く、消費マインド全般も高まっているようだ。一方、一般消費者の動きは鈍く、財布のひもは依然として固い。	
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・消費税増税の反動減があった昨年4月と比べて、来客数も増え、売上も増えている。今後は、少しずつ良くなっていくだろう。	
		スーパー（財務担当）	単価の動き	・客の安心・安全志向が強まっており、より良いものが売れている。	
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・消費税増税から1年経過し、改善を期待していたが、状況は良くない。3月よりは改善したものの、前年を割り込んでいる。	
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・買上単価が低く、来客数も少ないが、客の動向をみると、少しずつ良くなっているように感じる。	
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・今月中旬の天候不良により、一時的に少し落ちたものの、全体的には堅調であった。	
		その他小売 [ショッピングセンター]（副支配人）	単価の動き	・店舗毎にバラツキはあるが、単価アップにより前年を上回っている。	
		その他小売 [ショッピングセンター]（支配人）	来客数の動き	・消費税増税後の反動減があった昨年に比べると、売上の伸びは非常に好調である。	
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・日経平均株価が2万円を超えたことや、全国的に旅行が少し増えていることから、景気は少し上向いている印象を受ける。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・街中の景気は、それほど良くなっていない感じだが、四国霊場開創1200年記念行事が5月末まで行われていることから、今も参拝客が多く、売上も伸びている。	
		通信会社（支店長）	お客様の様子	・企業の新規採用に伴う販売がそれなりに出ているので、景況感は少しずつ良くなってきている。	
		通信会社（企画）	お客様の様子	・昨年度末以降、キャンペーン等の反応も以前より良くなっている。	
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・イベントでの来客数、問い合わせ数が増えている。	
		変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・顧客動向は、活発に動いている時期とそうでない時期が交互にみられ、全体的には落ち着いている感じられる。
			一般小売店[生花]（経営者）	お客様の様子	・開店の御祝商品が多く出ている一方、個人向けの贈り物商品は購入に慎重な様子。「母の日」用の予約では、単価の安いものから動いている。
			一般小売店[酒]（販売担当）	お客様の様子	・酒類については、量販店やドラッグストアに価格面で太刀打ちできない。
			百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・新しくオープンした大型専門店は好調で、来客数も増加している。しかし、衣料品は引き続き苦戦しており、高額品の動きも鈍く、景気回復には至っていない。
		スーパー（企画担当）	それ以外	・依然として節約志向が続いている。	
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・消費税増税直後の前年4月に比べると、売上は好調に推移している。来店客数は微増にとどまり、値上げ等による商品単価が上昇したことから売上増となった。	
		コンビニ（店長）	単価の動き	・競合激化により客数が減少しており、客単価も下落している。ただ、ゴールデンウィーク前の節約と考えられるため、景気が悪化しているとは感じていない。	
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・気温や天候に大きく左右されるが、来客数に変化はない。	

		衣料品専門店 (総務担当)	販売量の動き	・今月の売上は前年比10%程増加しているが、3月の落ち込みをカバーするには至っていない。依然として、お客様の買上動向が良くなっているには感じない。
		乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・昨年より景気は少し上向きで、来場者数も若干増えているが、販売量に増加の傾向が見られないまま年度末を迎え、4月は前年並みに落ち着いた。
		乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・今月の新車受注状況は、昨年とほぼ同様な動きである。四国の販売店の数字も、昨年と比べてそれほど悪くなく、今後の展開に期待している。
		通信会社(営業担当)	来客数の動き	・新生活特需も落ち着き、このところ来客数が減っている。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・春商戦が一段落した感がある。
		ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・昨年と比べると全体的に景気は回復していると思うが、予約状況や客単価は変わらない。
		競艇場(職員)	販売量の動き	・4月の売上は前月比19%減、3か月前比21%減、前年比7%減となった。比較月に対して本場開催日が約一節分少なかったため売上減となった。同程度開催されていれば、各月並になっていただろう。
		美容室(経営者)	お客様の様子	・来客数、客単価ともに伸び悩みの状態が続いている。
		設計事務所(所長)	単価の動き	・特に変化はない。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	それ以外	・昨年9月から今年5月までの間、ア・ケ・ド街で水道管とガス管工事が相次ぎ、街路の掘り返しと埋め戻しが繰り返されたため、大きな打撃であった。
		家電量販店(店員)	来客数の動き	・新生活特需は3月で終わり、客足が遠のいた。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・4月以降の新車受注状況は昨年と変わらない推移を示している。
		都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・来客数は一部戻りつつあるものの、全体的には、まだまだ戻っていない。客単価も戻っていない。
		旅行代理店(支店長)	単価の動き	・海外テロ等の情勢で海外旅行需要の落ち込みが続いている。特に単価の高いヨーロッパ方面の減少が大きく、近場の海外や堅調な国内旅行ではカバー出来ない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・乗車人数、売上とも減っている。統一地方選挙等の影響が考えられる。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・来客数が減っている。
	悪くなっている	一般小売店[書籍](営業担当)	販売量の動き	・1年で最も書き入れ時の新学期なのに、前年を大きく割り込んでいる。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・春の需要期を過ぎたことに加え、4月からの軽自動車税増税により3月までに取り込んだ反動減が現れている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・統一地方選の影響により、客数の動きは悪くなっている。
		その他飲食[ファーストフード](経営者)	来客数の動き	・3月末より、極端に来客が減少傾向にある。セールスも前年割れとなっている。
企業動向関連	良くなっている	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・弊社の新製品の評判がよく、全国的に小売店店頭での荷動きが活発になっており、消費者の購買意欲もおう盛である。一方、従来型の商品展開しかない卸業者は倒産、廃業するところもあると聞く。
(四国)	やや良くなっている	鉄鋼業(総務部長)	受注価格や販売価格の動き	・販売価格は3か月前より良くなっている。
		電気機械器具製造業(経理)	受注量や販売量の動き	・3か月前の販売量と比べ、海外向けが微増。
		輸送業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・受注単価が上がっている。
		金融業(副支店長)	取引先の様子	・資金ニーズが増えている。特に設備投資に関する資金需要が多くなっている。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の各企業の決算・試算表等によると、黒字と赤字の企業の割合に変化はみられない。ただ、前年に比べ、売上が若干伸びている企業が増加しており、景気はやや回復傾向にある。
	変わらない	農林水産業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・入荷減、単価高で推移しているが、需要は弱い。

	食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・スーパーマーケットなどの取引先の業績があまり伸びていないため、当社の受注量も横ばいである。		
	木材木製品製造業	受注量や販売量の動き	・原料価格の上昇傾向が、今後影響してくると判断している。		
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品が順調であり、現状程度の売上は確保出来ている。しかし、資材が円安で上昇しているため、採算ベースでは落ちている。		
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内外の受注状況は堅調に推移している。		
	建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量に変わりはないが、販売量が増えている。		
	建設業（経営者）	競争相手の様子	・競合先である同業他社では、期末手当の支給や新規採用数を増やすなど、景況感の良い状態が続いているようだ。当社も一定の仕事量を抱えており、同様の状況にある。		
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業の発注が例年より遅く、受注が伸びていない。		
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・海外で生産し日本国内で販売している企業が円安の影響で、輸入量が激減し、業務を縮小したケースがある。		
	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・4月の就職・就学シーズンと大型連休の特需により、例年であれば一般消費財が増加する時期であるが、今年の実績は昨年実績を下回った。天候不順による品不足で高値が続いている青果物については、東日本向けの出荷が好調に推移しているため、西日本の景気低迷を強く感じる。		
	不動産業（経営者）	競争相手の様子	・取引先の業績が二極化しており、景気がどの方向に向いているか不明。		
	やや悪くなっている				
	悪くなっている	-	-		
雇用関連	良くなっている	-	-		
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	求人数の動き	・有効求人倍率が上昇しており、求人ニーズは高まっている。その分、求職者は求人条件を選択し、生活水準の改善、消費意欲の向上へ繋がると考えられるが、早期離職という問題も起こっている。	
		人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・これまで正社員採用を手控えていた中小企業で正社員の求人がみられたり、契約社員でしか採用が見られなかった企業でも、正社員採用に切替える動きが一部見られる。	
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・県内企業は来年度の新卒採用PRに注力している。新たに新卒採用を開始する企業も増えてきており、例年以上の採用数が見込まれる。好況を反映して、受注増に対応するために増員するケースが多い。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新たな出店やビルの落成が多く、採用の募集広告も好調であった。商店の売り出しへのバロメーターである折込チラシ件数も下げ止まっている。	
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・求人数が前年に比べ1.5倍程度増加している。求人数はあるが、該当する登録者数が少なく、企業への紹介は十分に出来ていない。そのため、今後、企業の人手不足感に拍車がかかるように思われる。	
		変わらない	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・求人数は増えつつあるが、求職者とのミスマッチが目立つ。
			職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業以外の幅広い業種で採用増がみられる。特に小売業、サービス業のパート求人の拡大増加が目立つ。
			職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求人数は好調であるが、非正規雇用が約4割を占めるなど、求職者とのミスマッチが続いている。
		やや悪くなっている	-	-	
		悪くなっている	-	-	